

をめぐり活発な論議

6月定例議会 一般質問



「いなげや」建設予定地 役場東側

6月定例議会の一般質問では、5人の議員が登壇し環境や農業、また商業振興策など幅広い分野で論議が交わされました。

利子補給制度の導入

問 近隣への大型店進出により、多くの消費者が町外へ流失するなど、町商業は極めて厳しい状況にある。大型店「いなげや」も、当町への進出に向けて着々と準備を進めている。このような状況の中で、町では商業振興策として、大型店進出対策資金（テナント

入店資金や店舗の改築資金など）の利子補給の制度を導入できないか。

答 また、現在ある『中小企業振興融資資金制度』の融資限度額が低いと思うが見直しする考えは。

答 県内では21市5町が、大型店進出対策資金の利子補給を行っている。当町としては大型店の進出が初めてのケースでもあるため、今後の状況を見極めながら、商工会等と協議し前向きに検討していきたい。

また、現在の資金制度についても同様に考える。

ガス爆発防止対策

問 最近、佐倉市などでガス爆発が起き、周辺住民に多大な被害を与えた。そこで町ではガス爆発の防止対策として、異常が発生した場合に自動的

にガスを遮断する装置（マイコンメータ）の設置など、安全策を構じるような業者指導が必要と思うがどうか。

答 プロパンガスなどについては、通産省が安全基準を定めその指導にあたって

町でも各種災害に備えた地域防災計画の見直し作業を進めているので、このなかで業界等と調整を図りながら安心して住めるまちづくりを進めていく。

健康カード

問 高齢化社会に向けての医療対策として、患者の医療情報などが1枚のカードに記録できる「健康カード」を導入してはどうか。

答 町では40歳以上の方に自己の健康管理のための健康手帳を交付しているが、あまり活用されていないのが実状の



役場屋上に設置された防災用パラボラアンテナ

ようだ。健康カードの導入については、利用する住民側の健康管理への関心がなければならぬと思われるので、保健所や医師会などと協議したうえで検討したい。

PKO法案

問 憲法違反のPKO法案をどのように考えているか。

答 国際社会の中で日本としてどう世界に貢献すべきか——など高度な政治判断に基づくものと思われる。したがって、一町長としての見解は差